

和歌山県地域医療支援センターは、和歌山県から委託を受け、平成23年4月に和歌山県立医科大学内に設置されました。当センターでは、医師の地域偏在の解消と地域医療枠及び県民医療枠学生の大学入学時から卒業後9年目までのキャリア形成支援を最大の使命としています。また、そのために卒業後の研修体制整備、医療状況の把握に取り組んでいます。



地域医療支援センター長 上野 雅巳

3つの柱

地域医療枠、県民医療枠学生の在学中から卒業後(9年間)のキャリア形成支援

地域の医療の安定と住民の健康増進のための保健医療の支援

遠隔医療支援システム(遠隔外来・遠隔講義聴講等・遠隔救急支援)



● 遠隔救急支援システム導入機関 ● 遠隔医療支援システム導入機関

地域医療枠・県民医療枠学生、医師のキャリア形成をサポートします！

※専門医制度の変更や専攻する分野によって、専門医取得に要する期間等は異なります。

地域医療枠 (募集人員10名)

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的診療能力を有する医師及び医学研究者を育てます。和歌山県から修学資金(※)が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち、5年間はへき地医療拠点病院等を中心に研修を行います。

(※) 和歌山県修学資金 <small>貸与条件</small>	医師免許取得後、引き続き修学資金貸与期間の1.5倍に相当する期間(最低9年間)を和歌山県が指定する県内公的医療機関等に勤務することとし、そのうち、2分の1以上の期間をへき地医療拠点病院等でへき地を含む地域医療に従事すること。 ※上記条件を満たした場合、返還が免除されます。 詳しくは、和歌山県庁医務課(073-441-2610)までお問い合わせください。	<small>貸与金額(予定)</small>	● 自宅から通学する者 ……10万円/月
	● 自宅外から通学する者 ……15万円/月		

基本モデルコース



県民医療枠 (募集人員20名)

和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てます。卒業後9年間のうち4年間は、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行います。

基本モデルコース



遠隔医療支援システム

遠隔外来

○病院 ○科外来 ○診療所

遠隔講義聴講

○病院、○診療所

遠隔救急支援

救急現場

地域医療支援センター

和歌山県地域医療支援センター 遠隔外来

地域医療支援センター

和歌山県立医科大学 講義室

Joinクラウド

和歌山県立医科大学附属病院 救急外来等

地域医療枠 9期生
出崎 祐気 さん

医師を志す皆様へ
和歌山県立医科大学附属病院は県下で唯一の大学病院として、和歌山県の医療の中核をなしており、基礎研究をはじめ臨床研究や治験を推進し、地域の特性を生かした先端医療を開発することで、より質の高い医療を提供しています。高齢化が進む日本では、高血圧や糖尿病などの慢性疾患を複数抱える高齢者が患者の中心となっていきます。そのため、特定の疾患に特化した専門的な医療を提供する医師も必要ですが、それ以上に、患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的な関係を築き、家族及び地域という枠組みの中で責任を持って診療する、いわゆるプライマリ・ケアを実践できる医師の需要が高まっています。地域医療枠では、実際にそういった地域医療の現場で実習を行うことで、地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めることができます。医療の専門分化はこれからも進んでいきますが、それだけでは日本の医療を支えることは不可能です。ぜひ和歌山県立医科大学で、私達と共に学び、日本の医療に貢献できる医師を目指しましょう。

県民医療枠 9期生
尾崎 祥子 さん

医師を目指す皆様へ
県民医療枠では、和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍出来る医師を育成するため、入学時から卒業9年目にかけて一貫した医学教育を受けることができます。在学中は県内の中核病院で見学や実習をさせて頂く機会があり、県内の地域医療の現場に触れる貴重な体験になりました。また、セミナーや医師の先生方との交流会もあり、和歌山の医療への関心を深めることが出来ました。卒業後は大学病院や地域中核病院で研修を積み、最先端医療と地域医療の両方に携わります。そのため、総合的でよくある疾患から専門的で珍しい疾患まで、幅広い分野に対応できる力を身に付けることができます。皆さんも是非、和歌山県の医療に興味を持って、県民医療枠での勉強を考えて頂ければ嬉しいです。